

# 正 月



あけましておめでとうございます。

本来この挨拶は新しい年に年神様をお迎えして、たくさんの幸せを授けてもらうために、正月行事や風習の中で生れた年神様を讃える言葉です。年神様は年初の元旦に高い山から降臨して、その年の豊作と家族が幸せで暮らせる約束をしてくれる神様と考えられています。

年末の大掃除、年越し蕎麦、除夜の鐘、門松・しめ縄飾りなどは年神様をお迎えするための意味のあるお祝い行事ということになります。

また、お正月といえばお節料理。「神様にお供えしたものを分かち合うことで共に祝い恩恵にあずかる」という意味があります。このお節料理を重箱に詰めるのにも、しきたりや重箱の重ね方があるようです。

正式な重箱は5段重ねで、1段目からしきたりに沿って詰めていきます。

5段目に何を詰めるかは諸説ありますが、その中で“空にしておく”という説があります。私はこの説に大賛成。5段目には年神様から授かった幸せを詰めておく宝箱にしたいと思います。

本年も宜しく願いいたします。

